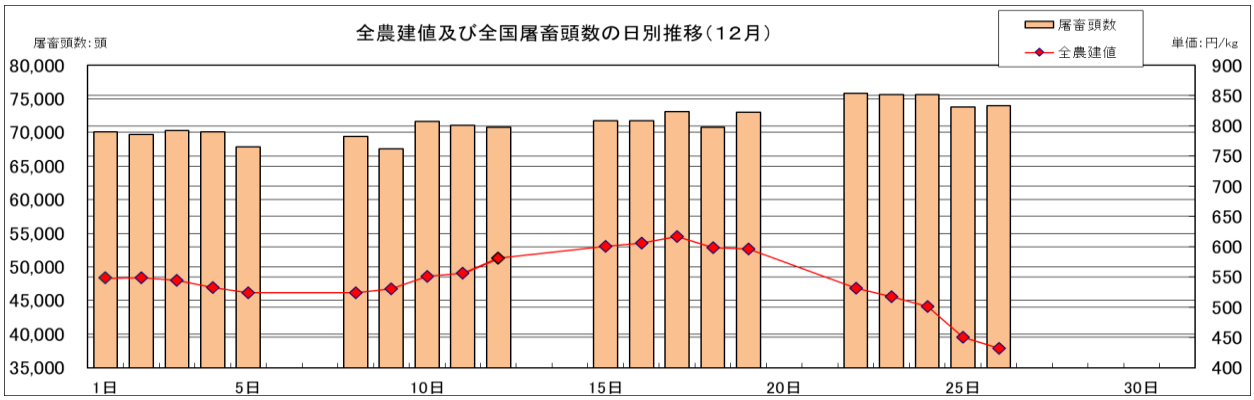
肉豚インフォメーション（12 月）

●12 月の動向

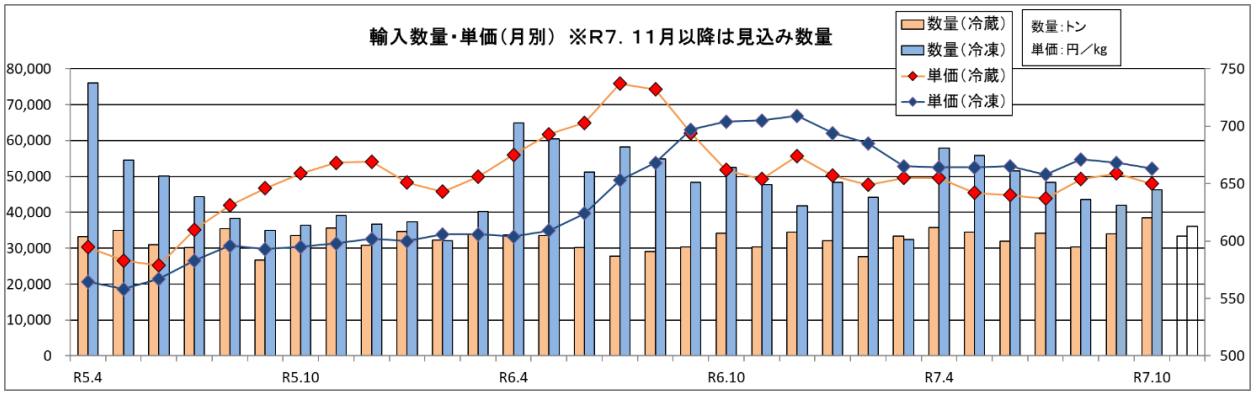
2025 年 12 月（税抜）	2024 年 12 月（税抜）
545 円/kg（50 円安）	595 円/kg

※全農建値

12 月は、鍋物需要の増加により末端消費も堅調であったが、出荷頭数は連日 7 万頭を上回る日も多く、年末にかけて低調な相場展開となった。

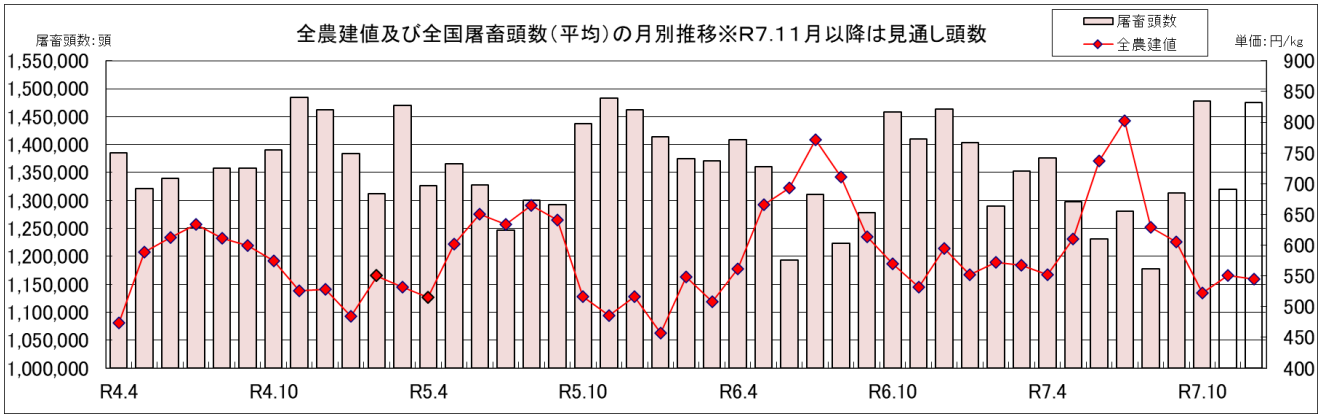


●輸入動向



●1 月の動向

1 月の出荷頭数については、前年同月をやや下回ると予測。



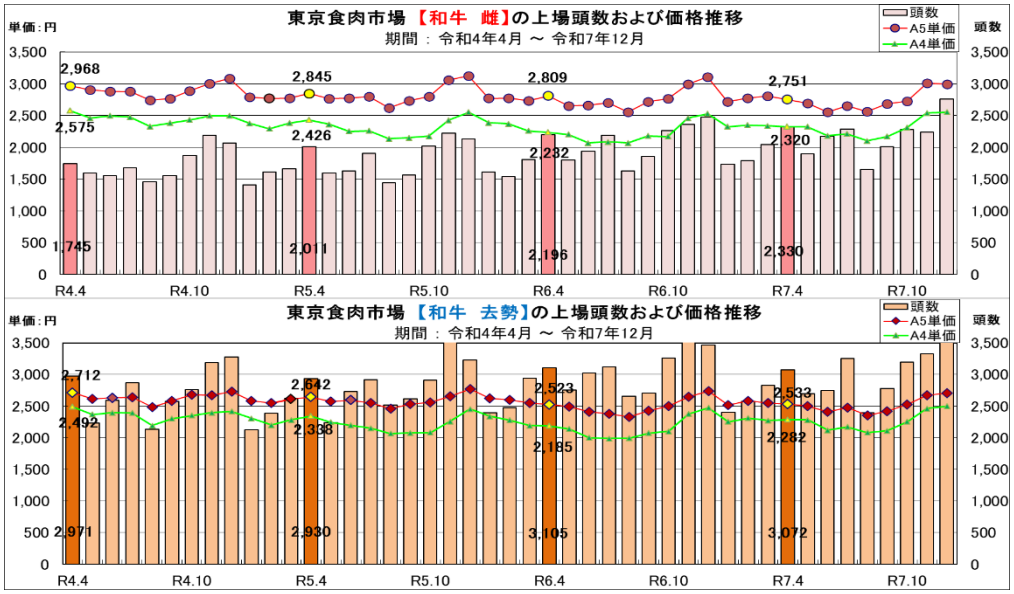
不需要期ではあるが、スペイン産豚肉の輸入停止の影響もあり、堅調な相場展開となる見通し。
全農建値（税抜）予測レンジは 580 円～620 円とする。

ＪＡ全農いばらき　畜産部

肉牛インフォメーション（12 月）

●12 月の動向

12 月は年末年始向けの引き合いがあったことから、和牛・交雑ともに上物を中心に第 3 週まで強もちあいで推移した。東京市場は年末年始の休市が 9 日間となることから、終盤まで手当て買いが続いた。



●1 月の動向予測

1 月は荷動きの具合にもよるが、継続する消費の停滞から先月ほどの相場は望めず、全体的に軟調に推移すると予測する。

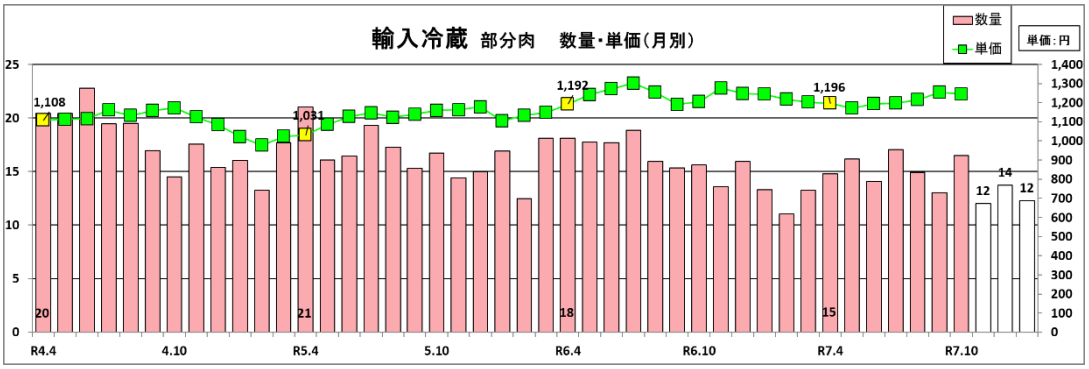
1 月相場は「軟調」の展開と予想。

和牛去勢　A5 等級 2,500 円（税込み）　　A4 等級 2,300 円（税込み）

交雑去勢　B4 等級 1,650 円（税込み）　　B3 等級 1,550 円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品は、国内需要が低調な中、現地価格の高止まり等により、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、１２月はかなり大きく、１月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、３カ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する。　（ALIC 牛肉の需要予測について　１２月２４日）



ＪＡ全農いばらき　畜産部

食肉インフォメーション（12 月）

●12 月の動向

○牛肉

12 月はお歳暮需要でロイン系を中心に高級部位の荷動きが期待されていたが、ギフト需要は低調に終わった。消費者の節約意識に加え、赤身肉志向の高まりもあり、販売はモモ中心となった。

○豚肉

寒さの到来で鍋物需要が増加し、バラ・肩ロースなどのスライス材を中心とした販売であった。

冬休みにより学校給食が停止するなか、例年はスソ物部位が鈍る傾向があるが、消費者の節約志向により一定の需要が見られた。

●1 月の動向予測

○牛肉

年末のお歳暮需要の反動で全体的に落ち着くものの、成人の日に、ロイン系など高級部位の動きに期待したい。交雑牛については 3～4 等級の和牛減少による代替として需要が高い状態が続くと予想される。

○豚肉

年末年始の出費の反動から、需要はやや鈍る傾向が予想されるが、販売の中心であるスソ物や挽材は、学校給食の再開もあり、一定の需要は想定される。

スペインでの ASF 発生による輸入停止に伴い、加工原料を輸入豚から国産豚への切り替える動きも予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター　業態別取引先実績（令和 7 年 11 月期）　単位：千円%

年度	ＪＡ どきどき	給食	仲卸関係	食肉専門店	量販店等	飲食店	合計
令和5年度11月	28,710	12,422	40,693	20,867	10,424	6,011	119,127
令和6年度11月	31,305	11,691	46,298	20,060	9,254	5,889	124,497
令和7年度11月	29,841	10,996	39,338	16,546	12,861	5,552	115,134
増減（R6-R7）	-1,464	-695	-6,960	-3,514	3,607	-337	-9,363
対比（R5-R7）	104%	89%	97%	79%	123%	92%	97%
対比（R6-R7）	95%	94%	85%	82%	139%	94%	92%